
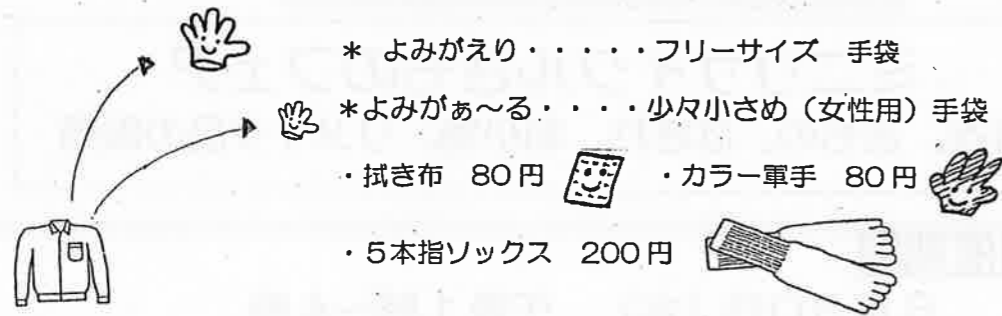


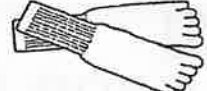


〒232-0017
 横浜市南区宿町 2-40 大和ビル 101
 Tel. 045-710-6507
 Fax. 045-710-6508
 ホームページ: <http://jimfiber.ld.infoseek.co.jp>
 発行: ファイバーリサイクルネットワーク

古着伝言板

《 リテックス製品 ・ ・ 回収された古布・古着から生まれた製品です 》

 ※制服・作業服の回収繊維を主な原料として、染色や脱色
 をしないで作りました。 1双 50円 好評発売中



- * よみがえり・・・フリーサイズ 手袋
- * よみがあ〜る・・・少々小さめ(女性用)手袋
- ・ 拭き布 80円  ・ カラー軍手 80円 
- ・ 5本指ソックス 200円 

是非ご使用下さい。ご注文はFRN事務所へ！！

2010年度 FRN 地区回収年間スケジュール

2010/06/03

地区名	拠点	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌1月
旭区	8		26(金)		23(金)		25(金)			24(金)		26(金)		
磯子区	6			23(火)			22(火)			28(火)			21(火)	
金沢区	4		9(火)				8(火)				12(火)			
港南区	3			25(木)			24(木)			30(木)			2(木)	
港北区	2	19(火)			20(火)			20(火)			19(火)			18(火)
栄区	2	14(木)			1(木)			1(木)			7(木)			13(木)
瀬谷区	1		25(木)			27(木)			26(木)			25(木)		
戸塚区	10		12(金)			14(金)		9(金)				12(金)		
中区	9	13(水)			7(水)			7(水)			6(水)			12(水)
南区	3	8(金)			2(金)			2(金)			1(金)			14(金)
麻生区	2		16(火)		20(火)			20(火)			19(火)			
観音町	1					17(月)					18(月)			
多摩区(菅)	1					13(木)						11(木)		
多摩区(登戸)	2					10(月)						15(月)		
宮前・高津区	7	19(火)			13(火)			13(火)			12(火)			18(火)
茅ヶ崎市	9		1(月)		5(月)		7(月)		2(月)		4(月)		6(月)	
逗子・葉山	10					18(火)							2(火)	

17 地区連絡会 80 拠点

* 新拠点追加希望の場合は、回収予定の1ヶ月前に、周辺地図を添付の上、登録依頼をしてください。
 ©登録の際の注意: 氏名、〒番号、住所の市区町村番地、TELは市外局番から記入、FAXの有・無も明記。

ファイバーリサイクルネットワーク

報告会を終えて

FRNの報告会を、2月27日(土) 11:00~15:00
 まいたエコサロンで開催しました。

地区担当者(回収活動をしている人) 活動支援者(きもの等の実行委員会) ボランティア登録者、ナカノ株式会社中野聰恭社長、リサイクル部事業企画室 室長 窪田氏、秦野工場長藤田氏の計37名が出席しました。

第1部 2009年の活動・決算、2010年の計画・予算が報告されました。第2部は 中野聰恭社長の講演がありました。

FRN規約の一部改正

設立当初より回収活動を目的とした規約でした。18年経ち現在の活動に合った改正をしました。

FRN基金

1992年度~2009年度まで合計 10,506,455円を国内外に支援しました。

報告会のアンケート(感想)

- ・ 知らない事が多く、大変勉強になりました。
- ・ 繊維をリサイクルに出す事は今までなく、自分の所で使ったり、ゴミとして出す事が多かったが、遅まきながら考えたいとおもった。
- ・ 「各地区連絡会の報告集」があったので、良いこと、悪いことも、悩みも地区連絡会の活動報告としての時間があれば良かったと思います。など多数のご意見、ご感想を頂きました。



「社会情勢からみた回収された布の現状」

ナカノ株式会社 代表取締役社長
 中野聰恭氏

FRNの活動は発足(1992年6月20日)以来行政の援助も受けず、経済的に自立した市民活動団体です。

今の世の中は社会的、経済的にも不安定な時代ですがFRNで扱っている故繊維は、沢山の可能性を持った素材です。布の可能性を通して、地域のコミュニティー組織を作り人間関係を深め、しいては文化の継承につながっています。古布、古着を回収する事により、それに対する思いを伝達する大切な役割もはたしています。

回収された古布、古着は再使用(リユース)中古衣料として(輸出も含む)、再利用(リメイク)、再生原料(反毛)わたにしフェルトにされます。などの講演がありました。

FRNはまだまだ新しい展開の出来る団体です。大いに期待する!とのあたたかい言葉を頂きました。・・・感謝

「いつも、ご協力ありがとうございます！！」

赤岡 清子

21年秋、22年春と「リサイクルきものフェア」の実行委員長を経験させて頂きました。平成9年3月に、第1回「リサイクルきものフェア」を開催し、この春4月、23回目の「フェア」を終える事が出来ました。

「きものフェア」を開催するきっかけになったのは、“回収した「古布・古着」の中に着物や帯が入っているんだけど、活かせる方法はないかな”の業者の方からの一言からでした。

日本の文化である和服、帯は、リサイクルされるルートが確立されていなかった為、再利用として企画されたのが「リサイクルきものフェア」でした。

年二回、春と秋にフェアを開催するという事はかなり大変なことです。春フェアが終わると、もう秋フェアの準備を進めなければなりません。また、フェアとフェアの間にも、夏イベント「もめんの夏」や「和布講習会」等があり、これらは皆、ボランティアの皆さんの細かい日々の作業の積み重ねで開催可能となっています。

フェア開催にあたり、当日スタッフの確保も大変な事です。スタッフお願いの葉書を出した後、返事を頂いていない方へは電話のアタックです、再連絡、再々連絡でさぞしつこいと思われた事でしょう。断られる事のほうが多く、年齢的にご自身が体調を崩していたり、ご家族や親の介護なども理由に上がっています。

気持ちが落ち込んでいる時に「いいですよ！」と返事をいただくと、思わず「嬉しい!!!」と言ってしまい、またやり取りの中でありがたいご意見やアドバイスも頂きました。

21年秋のフェアから当日スタッフの集合時間を遅くし、解散時間が1時間早くなりました。

スタッフの手際の良さと工夫により、スタートも順調、終了後の片付けも段取り良くスムーズに終わり、責任者として挨拶をさせて頂いた時、疲れているはずの皆さんが、笑顔で耳を傾けて下さっている姿に、「あ～皆さんの協力があって今日のフェアが無事に終わった～！」と強い実感と感謝の気持ちでいっぱいになりました。

この二回の経験は、FRNがこれからも「きものフェア」や各種イベントなどを継続して行く上で、FRN活動の大きな支えと言える活動支援登録（ボランティア）されている方を大切に、私達も色々考え工夫をし、皆さんに協力してもらえ体制を作って行く事の大切さを痛感しました。

皆さん、いつもありがとうございます！！

第5回 もめんの夏

入場無料

ミニリサイクルきものフェア
浴衣、きもの、はぎれ、和小物、リメイク品の販売

開催期間

6月30日(水) 午後1時～4時

7月1日(木) 午前10時～午後4時

7月2日(金) 午前10時～12時

◎ 30日、1日に手作りミニ講習会を開催(当日受付)します。
参加費(材料費込み)・・・500円



会場
フォーラム南太田
3階 大研修室

会場への行き方

- 京急南太田駅
(横浜駅から各停で7分)
下車 徒歩3分
- 市営地下鉄 吉野町駅
(関内から5分)
下車 4番出口 徒歩7分

《 FRN研修 》

ナカノ(株) 秦野工場 見学

回収された私たちの「古布・古着」は、ナカノ(株)金沢工場

や秦野工場で仕分けをされています。 秦野工場の

見学を企画し、回収された「古布・古着」の

行方を学習してきます。

